

議会だより

第136号

平成30年11月1日発行
宮城県松島町議会



「♪美しい音♪」を奏で、感動を届けたい！（松島中学校吹奏楽部の皆さん）

- ◇ 平成29年度決算概要……………P 2
- ◇ 町長の考えを問う(総括質疑)……………P 5
- ◇ 各課に問う 決算審査特別委員会……………P 9
- ◇ 議案審議……………P 18
- ◇ 5人の議員が熱弁(一般質問)……………P 24
- ◇ 町民の声……………P 32

平成30年
第3回 定例会

[9月7日～9月25日]

平成29年度決算

認定

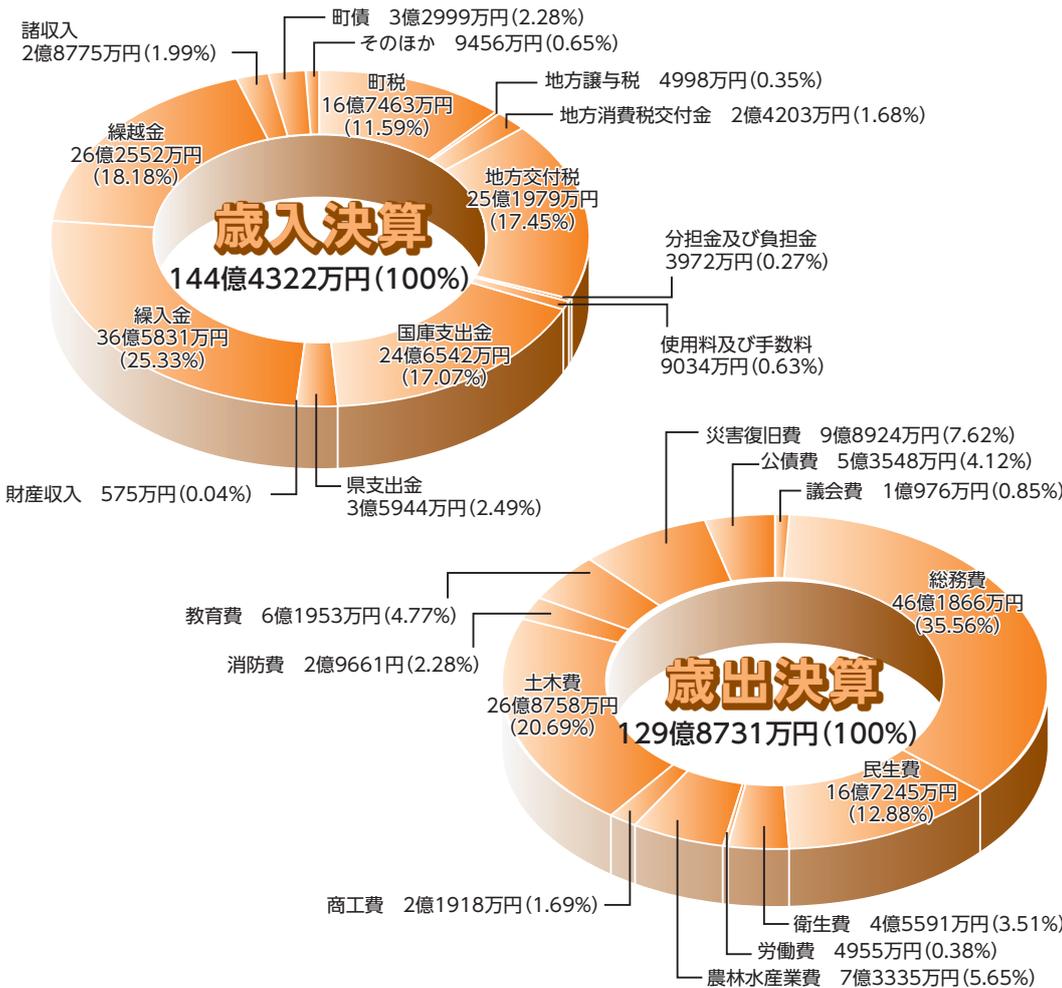
歳入

歳出

約144億 約130億

決算

一般会計



※構成比の数値は、四捨五入しているため合計の数値と合わない場合があります。

平成30年第3回定例会が、9月7日から25日までの19日間で開催されました。提案された内容は、松島町都市計画マスタープラン、条例の一部改正、各種会計補正予算、工事請負契約の締結、物品売買契約の締結等、議案20件でした。審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

また、平成29年度各種会計決算審査は、特別委員会を設置して審議し、一般会計をはじめ9会計の全てを認定しました。

一般会計の基金(預金)と地方債(借入金)の状況

預金は17億円

町民ひとりあたり **12万円**

借入金は59億円

町民ひとりあたり **41万円**

項目	金額 (万円未満四捨五入)
基金(預金)残高	17億2572万円
地方債(借入金)残高	58億7018万円

※平成30年3月31日人口：1万4366人

決算収支は黒字になりました。

歳入歳出差引額 14億5591万円

- ①29年度の繰越事業 10億1943万円
- ②基金に積み立て 2億2000万円
- ③30年度への財源として繰越し 2億1648万円

県営事業手樽地区復興基盤整備事業 171haの区画整理工事契約が締結に

決算



区画整理が進む手樽地区



児童館のジュニア・リーダーとの異年齢交流

主な事業についての報告

事業名	支出額	内 容
障害者福祉費	3億2627万円	障害福祉サービスの必要な人に認定を行い、適切なサービスを提供することにより生活の支援が図られた。 身体に障害のある人の機能の補完・代替として利用される補装具費の給付について、購入および修理に係る適切な給付を行い、障害者等の自立した生活や社会参加を促すことができた。
老人福祉費	3億1754万円	元気な高齢者が地域の支え手となるよう研修会等の啓発により、老人クラブ会員主体の地域サロン活動が増加し活性化が図られた。 宅配夕食サービス事業や高齢者タクシー助成事業実施により、可能な限り住み慣れた地域で生活できるように在宅生活を支援した。
保育所費	2億119万円	入所児童の健康と安全を確保し、保護者に安心して仕事等に従事してもらうことができた。 また、(特別)延長保育事業、一時預かり事業を行うことで就労形態や保育需要の多様化に対応することができた。 保育士の派遣業務委託を実施し、保育士不足に対応することにより、入所児童の安全確保に努めた。
児童館費	1933万円	児童館事業については、多彩な企画を提供し土曜日を中心に事業を行ったことにより、多くの子どもたちとその保護者が参加した。イベント時には、松島町ジュニアリーダーや松島高校ボランティア部などの協力により異年齢交流を促進することができた。
農地費	3億4708万円	農地整備事業(下志田地区)については付帯工が実施され、地権者の意見が反映された。 復興基盤整備事業(手樽地区)については、区画整理工事がすべて契約締結まで完了した。 県営かんがい排水事業については、用水路工事を実施し、農業用排水機能の充実が図られた。
観光費	9963万円	世界を魅了し東北を牽引するため、松島観光協会、日本三景観光連絡協議会、県観光連盟等の団体や関係市町と連携を図り、国内外に向けて観光復興をPRし、誘客活動に努めた。 受入体制の強化としては、二次交通対策として、仙台空港・松島・平泉線バスや、成田国際空港・仙台間の夜行バスの松島延伸に協力した。
道路新設改良費	8億1480万円	東日本大震災復興交付金として採択を受けた避難道路整備事業については、測量設計、土地購入および物件等移転補償を行い、避難道路工事を実施し、事業の推進が図られた。 道路舗装事業については、町道の砂利道について舗装工事を実施し、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備が図られた。
公共土木施設災害復旧費	9億8924万円	公共土木施設災害復旧事業については、東日本大震災により被災した公共土木施設(道路・橋梁)の土地購入・物件移転補償および災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。 漁港施設災害復旧事業については、被災した漁港施設および海岸施設の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。

平成29年度特別会計歳入歳出内訳

(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億1070万円	19億2468万円
後期高齢者医療	1億9730万円	1億9648万円
介護保険	17億1105万円	16億6161万円
介護サービス事業	650万円	650万円
観瀾亭等	1億3497万円	1億381万円
松島区外区有財産	348万円	323万円
下水道事業	48億382万円	39億1587万円

水道事業会計収支内訳

(万円未満四捨五入)

区分	収入	支出
収益的収支	6億570万円	5億4360万円
資本的収支	2億7563万円	3億5968万円

*水道事業会計の資本的収支に不足する8405万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

総括 質疑

平成29年度決算について 町長の考えを問う

総括質疑



第3回議会定例会審議の様子

決算について

問 決算についての所感。

町長 自主財源、主に法人町民税が伸び悩んでいて厳しい。社会保障等を考えながら財政を進めていかなければならない。

問 ふるさと納税の返礼品は。

町長 納税額の3割を超える返礼品はない。納税をする方々の意思に対し、使い道を7つの項目にしている。

問 自主財源を増やすためにネーミングライツの導入は。

町長 内容等を精査して、どういったものが松島町で可能なのか、現状を探りたい。

問 経費削減のために、議会のICT化は。

副町長 今後の検討材料ではあるが、議会側との話し合いの場が必要である。

※ネーミングライツ
公共施設等に企業などが命名することができ
る権利
※議会のICT化
情報通信技術(タブレット等)の活用により
議案のペーパーレス化や会議の効率化を図る



杉原 崇
議員

災害発生時の対応

問 災害時における議会との情報共有のあり方は。

町長 議会と行政が災害に対して情報の共有をきちっと図って対応するのが必要と考える。

問 マリンピア跡地にできる施設の進捗状況は。

町長 県の公募により民設民営での施設運営が決まった。建物の高さの問題があったが、文化財協議が終わり、現在は詳細設計に入っている。

企画調整課長 1階に地元の産品を扱った物産のコーナー、2階は松島の資料を展示する博物館的な機能を持たせた空間を計画している。

中庭に縁日スペースやお祭り広場、また、潮干狩り体験ができるような設計もある。

問 総合教育会議の中で、松島町における英語教育の取り組みについて話し合われた内容は。

教育長 学び支援教室や放課後子ども教室とコラボした英語教室や夏休み英語漬けキャンプなどを考えている。今後、英語の指定校を受けて、英語教育の充実を図っていきたい。



高橋 幸彦
議員

成果説明書の変更点

問 成果説明書の様式が、前年と違っているが、その意図は。

副町長 指摘により、他の市町村を参考にして、成果の後に現況、課題、今後の方向性の欄を設けた。

長期総合計画と公共施設等総合管理計画

問 公共施設等総合管理計画は30年という計画年数になっている。町の最上位計画である長期計画より大分年数が長い。

町長 長期総合計画と公共施設等総合管理計画の内容に違いがあり、管理計画は今後の施設の新設や維持管理の問題もあり、長期となっている。

定住促進対策は

問 総務経済常任委員会で視察に行った富山県舟橋村は、市街化調整区域から全村、市街化区域へ変更した。約1500人増えて人口が倍増している。わが町の場合はどうか。

町長 松島町では地区計画を進めている。

企画調整課長 県といろいろ協議をしてきたが、市街化区域への編入はむずかしいので、町内3か所で地区計画を進めている。

町営バスのデマンド化と高齢者の免許証返納

問 監査意見書の中で、路線型デマンド交通の実証実験と、運転免許返上者に対する高齢者タクシー助成について、監査委員からの意見がでているが、町長の所見は。

町長 29年度は公共交通会議を実施し、30年度に実証実験を行う。高齢者の免許証返納については他市町村の対策を参考に考えていく。

他に

- ① ナラ枯れ対策は。
- ② 観光客の減少に対する施策は。(駐車場の満車・空車表示のデジタル化)
- ③ 全国学力状況調査の結果は。
- ④ 小中学校の不登校対策は。



今野 章
議員

人事評価の運用と総括は

問 能力評価と業績評価を中心とする人事評価制度の本格運用が始まったが見直すべき点、昇給との関連など、どう総括しているか。

総務課長 現在、分析整理中だが評価の仕組みが複雑なため各課でばらつきがある。また評価する側、される側の研修もさらに必要で、昇給をセットするには時間が必要である。

松島海岸駅の整備、進捗は

問 松島海岸駅や国道45号の今後の整備は。歩道の傾斜改善やガードレールの設置の見通し。駅整備は東京オリピックに間に合うのか。

企画調整課長 昨年、JR東日本と包括連携協定を結び、JR東日本が基礎調査を実施。30年度内の実施設計完成に向け、文化財保護課と調整を行っている。

町長 仮駅舎の設置、既存駅舎の解体の工程であり、32年7月の仮駅舎使用開始でお願いしている。

建設課長 車道と宅地の高さを変えられず歩道に傾斜が出た。ガードレール、

点字ブロック、路面標示等は、観光シーズンを避け実施する。ガードレールは、クランク部分だけの設置もある。

ゴミ減量化の取り組みは

問 地球温暖化、気候変動の激化など、CO2の排出削減・ゴミの減量化が求められる。本町は宮城東部衛生処理組合管内でゴミの1日一人当たりの排出量が最も多い。減量化の取り組みは十分だったか。

副町長 公衆衛生関係者の協力でゴミの分別、リサイクルの徹底を進め、本町は事業系ごみの混入率が最も低くなった。人口減少、観光客の減などでゴミの排出総量は減少しているが、改めてゴミ減量化へPRしたい。

不登校要因の把握は充分か

問 年度末の不登校が小学校6名、中学校15名と増加しているが、その要因を一人ひとり把握できているのか。いじめとの関連はないのか。

教育次長 各校で月1回いじめの記名式調査を実施、いじめによる30日以上欠席の重大事案はない。不登校では、無気力・不安傾向が多く、各校の担当者、対策委員会、ケース会議などを通じて対応を図っている。

29年度の予算執行は、効果的・効率的となったのか

問 29年度の施政方針で効果的・効率的な予算執行に努め、笑顔あふれる美しい町松島を実現できるように全力を尽くすと示していたが、決算状況を見ているか。

町長 石田沢も三十刈も施設はすべて完成している。避難道路についても進捗率を伸ばしてきた。排水機場は様々な問題もあったが解決の方向に進んでいる。

問 予算額に対し不用額は4億5497万3千余円となっているが、効率的だったと思えるか。

副町長 復興事業もある中で、総体的に見たらそれほど不要額が多いと感じていない。

問 町税で677万7800余円、国保税で832万6600余円など多額の不納欠損が生じている。29年度予算総括で債権を放棄しないように債権管理條例の制定を提案した際、勉強しながら検討していききたいと答弁された。その後、町長はどのような指示を出して進めているか。



菅野良雄
議員

副町長 町長の指示もあって、総務課を中心に研修を重ね前に進むように努めている。

問 29年3月での答弁と変わっていない。利府町は債権管理計画策定している。職員が出向いて指導を仰いだりしたことはないのか。

総務課長 条例は見ているが、今後、さらに調査していきたい。

問 保育所の在り方について、30年1月29日に中間報告を受けている。高城保育所は改修、もう一ヶ所は新設。一ヶ所は公立、一ヶ所は民間委託の方向であったが、現状は。

町長 今も変わっていない。

問 6月定例会における愛宕地区の土地利用についての一般質問に対し、愛宕住宅周辺を住宅系、根廻磯崎線が国道に接する周辺は産業系の土地利用を図る地域として県と協議を進めると答弁しているが、町長自ら県に足を運んで要望したことはあるのか。

町長 土木部長にお願いしに伺っているほか、県庁各課を回っている。

問 磯島にグラウンドゴルフ場を造る話を聞くが事実なのか。

町長 グラウンドゴルフ場については、聞いていない。

施設管理は

問 既存施設の老朽化が進んでいる。施設の統合など、改修の優先順位は。

町長 既存施設管理については、統合等を含め、一つ一つ、何を廃止にするのかについて今は考えていないが、古浦農村集会所については、現状を踏まえ、判断をする必要がある。

庁舎建設は

問 震災から7年半を過ぎ、現仮庁舎建設用地は借地であり、新庁舎の建設基金を積み立てているが、建設について、庁議で検討されているのか。

町長 仮庁舎建設から5年目を迎えている。前町長が10年ということで建築されたと思う。その事は自覚しているが現在庁議はしていない。

土地所有者には、毎年挨拶をしている。今後の考え方についても4月にお話をした。将来検討する時期には相談に乗ってもらいたいと話している。

財務課長 庁舎建設時期等も含め、他の主要事業など全体的な事を考えて検討しなければならない。

職員の採用は

問 町内外の優秀な人材を松島町の職員として採用しているが、本町在住の人に勤めてもらえる方策をとるべきではないか。

町長 町内の職員は49%であり、今年も何名か採用予定だ。一次試験をクリアした人を対象に面接と、松島町の課題についての論文試験を行い町内外を問わず公平な採用をしている。

平成29年度は、松島高等学校観光課第一期生が卒業の年で、高校生枠を設けたが残念ながら採用にいたらなかった。

新たな温泉施設の動向は

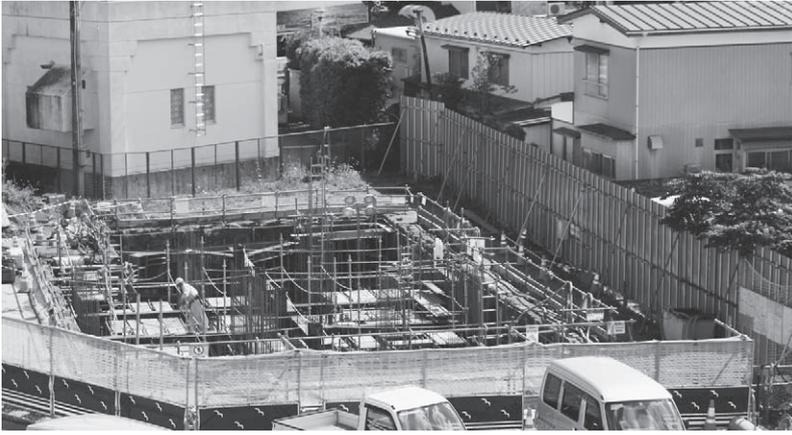
問 本町の入湯税は、たばこ税の約8400万円の50%で約4500万円と順調に伸びているが、今後の入湯税と新たな温泉施設の動向はあるのか。

町長 現在7件の施設で入湯税を納入してもらっているが、急には伸びないと思う。

新たな温泉施設計画1件の動きあり、現在検討中であり、町としてもサポートして行く。



片山正弘
議員



小梨屋雨水ポンプ工事現場



色川晴夫
議員

総括質疑

復興事業は32年度までに完了するのか

問 震災復興交付金事業は、平成32年度まで完了しなければならない。それまでに事業は完了するのか。

町長 平成29年度で予算に対する執行は約90%ぐらい進んでいる。問題は避難道路で土地所有者との話し合いが進まないこともある。年度内で解決しなければ期間内の完了は難しく、31年度で発注が終らなければ完了しない。

問 32年度まで工事が終わらないことも考えられる。国は延長するのか。

町長 復興庁は10年で解散することは変わりないと思う。しかし、「関係ない」とはいかない。原発問題などで遅れていることもあり、全事業が完遂するよう国が出先機関を持ってもらうよう国に求めている。

予算執行率の向上を

問 予算に対する収入率は94・26%、執行率は84・76%とある。ここ数年の執行率の推移は。

財務課長 事業の執行率は繰り越しの多・少と不用額の残が主な要因である。26年度は約63%、27年度は約64・3%、28年度は約69・5%である。

問 予算計上で大切なのは「最少の経費で最大の効果を上げる」ことで、多額の不用額が出れば執行率は下がることになる。年度途中で補正すべきである。

町長 各課でアイデアを出し合い、町民の負託に応えられるよう予算組みみしている。半年経過した時点で精査し、30年度は不用額が余り出ないよう取り組んでいく。

決算審査特別委員会

現地調査

9月12日に決算審査特別委員会現地調査を行いました。

瑞巖寺周辺町道等整備事業



瑞巖寺総門公衆トイレ整備事業



桜渡戸分館建設事業



名籠漁港整備事業



その他 瑞巖寺本堂等保存修理事業

各課に問う

平成29年度決算審査

特別委員会



北小泉・下竹谷コミュニティーセンター

決算

問 選挙投票所でバリアフリー化が進んでいない所は。

選挙管理委員会事務局長

北小泉・下竹谷コミュニティセンターの一角で玄関に段差があり、車イス用のスロープを利用してもらっている。今後検討する。

問 高齢者や障がい者が投票所に行けなくなるのが今後多くなると予想されるが。

投票所のバリアフリー化は

選挙管理委員会事務局長

選管に申請してもらい、確認後、不在者投票と同じ流れで郵便投票ができるようにはなっている。

問 障がい者雇用率が昨年は2・3%であったが、基準に達しているのか。

総務課長

29年度は3人で充足していたが、30年度は改正により4人となった。うち1人が退職したことで2人が不足となり、募集している。

問 町民新年会が今年度は開催されることになったが、その後については。

総務課長

31年度については検討中である。

問 国での文書廃棄が問題となった。当町では10件の廃棄とあるが、その基準は。文書をデジタル化して保存する方法もあるが。

総務課長

文書により年数を定めており、各課と協議し、保存、廃棄を判断している。また、デジ

タル化保存には至っていない。

問 防災行政無線戸別受信機が3年間で150台配備された。難聴地域にも貸し出しを考へては。

危機管理監

8月から安全・安心メールで防災行政無線と同じ内容を発信している。難聴区域を重点に整備し、有料での貸し出しは今後検討していく。



決算審査特別委員会 澁谷秀夫委員長

フットボールセンターの経済効果は

問 フットボールセンターの管理料、修繕費にお金がかかっている。今後どうなるのか。また、この施設による町への経済効果は。

財務課長 今までの修繕は、大規模なものを中心に行っている。ほかについては協議しながらやっていく。

29年度の利用者数、観客数、宿泊を含めると74000人であり、買物などで経済効果はある。

問 納税貯蓄組合数と組合員の減少で、検討すべきという意見も出ていたが、どう考えているのか。

財務課長 地域の事情に応じて、各組合ごとに対応していく。

問 松島景観計画に照らすと、ある地域の太陽光発電施設は、非常に景観上好ましくない。規制することはできないのか。

企画調整課長 ソーラーを規制する法制度はないのが現状である。県にお

いて、どのような制限をかけられるかを検討している。

問 情報発信のためInstagramを活用すべきでないか。

企画調整課長 フェイスブックと連動させ、Instagramの活用を検討する。

問 移住・定住フェアの相談件数が3会場で28件と少ないのでは。

直接町に問い合わせなどはあるのか。

企画調整課長 直接面談しているの少ない。ただし相談時間は、2時間の方もいた。その後、松島に来た人もおり、現地案内もしている。



松島フットボールセンター

ナラ枯れの原因は

問 ナラ枯れの原因は。

産業観光課長 カシノナガキクイムシが原因。双観山、桜渡戸、治祐ヶ森周辺を重点的に伐倒実施をしている。県において、松島はナラ枯れ対策に重点を置いているので、可能な範囲でナラ枯れ対策をしていきたい。

問 ナラ枯れの原因は。

産業観光課長 カシノナガキクイムシが原因。双観山、桜渡戸、治祐ヶ森周辺を重点的に伐倒実施をしている。県において、松島はナラ枯れ対策に重点を置いているので、可能な範囲でナラ枯れ対策をしていきたい。

問 国の方策では農振地域や大規模、あるいは認定農業者に対しては手当をしているが、町は、それから外れた農地について、支援していくことが重要でないのか。

産業観光課長 農振地域外への対応について、町単独の支援は少ないのが現状である。

問 同事業は、3年期限の補助事業だが、その後についてはどう取り組むのか。

産業観光課長 根廻の桃の栽培事業が前年より大きく成長している。今後、自立できるよう支援していく。

問 農振地域外への対応について、町単独の支援は少ないのが現状である。

産業観光課長 農振地域外への対応について、町単独の支援は少ないのが現状である。

問 同事業は、3年期限の補助事業だが、その後についてはどう取り組むのか。

産業観光課長 根廻の桃の栽培事業が前年より大きく成長している。今後、自立できるよう支援していく。



子ども英語ガイド

問 国の方策では農振地域や大規模、あるいは認定農業者に対しては手当をしているが、町は、それから外れた農地について、支援していくことが重要でないのか。

産業観光課長 農振地域外への対応について、町単独の支援は少ないのが現状である。

問 同事業は、3年期限の補助事業だが、その後についてはどう取り組むのか。

産業観光課長 教育委員会の協力もあり、30年度の申込者は23人と増えている。今後は部活動との調整を行っていく。



こころの体温計QRコード

携帯電話の方は、こちらからアクセスしてください

決算

個人情報情報の取り扱い

問 業者が住民基本台帳を閲覧して名簿を集めているようなケースはないのか。

町民サービス班長 住基法の改正により、個人情報保護の観点から、閲覧が厳しくなっている。

問 児童館の高校生の利用実績がないが。

こども支援班長 高校生も含めた18歳までの居場所と想定していたが、小さい子向けのイメージがあり利用がない。小学生から利用している中学生の利用が増えており、高校生は口コミ等で広がればと思っている。

問 延長保育のさらなる延長や日祝日の保育要望はあるのか。

こども支援班長 数字的には多くはないが、更なる延長や日祝日の保育についての要望はある。近隣自治体の状況を踏まえながら検討はしたいが、来年から実施するという状況ではない。

問 保育所の再編策定支援業務委託の内容は。

こども支援班長 建設予定地となる前提条件の調査や比較、建物の配置図、高城保育所改修を含めた概算事業費の算定である。保育所の調査ではあるが、こども園も想定しているので教育委員会と協議しながら、今後の方向性を決めていく。

緊急通報システムの利用は

問 ひとり暮らし老人の緊急通報システムで、携帯電話型の利用は。

高齢者支援班長 29年度の設置は固定電話型の利用は18台、携帯電話型は4台だったが、新規設置は固定電話型が2台、携帯電話型は7台で、携帯電話型の利用の希望が増えている。初めて使う人も丁寧に説明し、協力員が探せない人には携帯電話型の利用を勧めている。

問 自殺対策緊急強化事業で、これまで40歳の人へダイレクトメールの発送があったが。

健康づくり班長 29年度については、新たに「こころの体温計」というメールを導入したため、40歳に対するダイレクトメールは送付していない。

問 介護保険料の滞納者に対する対応は。

高齢者支援班長 65歳以上になると年金から天引きされると思っている人が多く、その半年間の中で納め忘れをしている人が多いので、周知徹底を図り、電話などで納めてもらうように、相談や説明をしている。

問 包括的支援事業における総合相談支援事業について。

高齢者支援班長 包括支援センターの職員はもちろん、高齢者支援班全体で相談事業に当たり、保健師を中心に、専門的な相談についてはフォロワーがいる。社会福祉士も29年度2名体制で勤務しており、他の職員でフォローができています。



児童館

設

国道45号の歩道照明灯の明るさについて

問 新しくなった国道45号の歩道照明灯が暗いのだが。

建設課長 電気料の問題もあり、ソーラー式蓄電型のフットライトとなつているが、照明持続時間の関係で、光量が8段階中7段階目まで上げている。少し暗いかもしれないので、別の照明灯など検討していきたい。

問 草刈り機の、チップソーの提供の条件は。

管理班長 各行政区より、社会奉仕活動ということで、草刈りとか清掃活動の届け出を出してもらっているが、その



歩道照明灯 (国道45号)

中で、草刈りの刃や、ガソリンが必要だと言ってもらえれば、町から提供している。

水道事業所

水道料金の引き下げは

問 漏水調査では、どの程度漏水箇所の発見ができて、漏水の工事をしたのか。

施設班副参事 29年度の漏水調査では、33件の漏水を発見し、それを修繕した。このことにより、約40・8%の無効水量を防止した。

問 高齢者世帯に限らず、全体として水道料金引き下げの検討をしていくべきでは。

町長 少子高齢化・人口減少による水道料金の値上げも考えられるので、できるだけ今以上には上らない施策を考えていきたい。移住者に対して、一定期間の減免など

を合わせ、今後議論していく。



図書室書籍の分類を整然と

問 学び支援事業の利用児童数が、三つの小学校において利用割合に極端な差があるが。

教育長 学び支援は、原則任意の希望児童を対象にしている。利用児童が非常に少ない一小はスポ少・塾通いの児童が多く、二小はスクールバスの時間の関係、五小は地域風土等、各学校で事情が異なっているゆえと考えている。

問 学び支援事業は、東

日本大震災の被災児童の学力向上を目的とした平成32年度までの時限補助事業であるが、その後の児童の学力向上に向けた対策は。

教育長 時限前に、平成30年度から同メニューの補助金で、「放課後子ども教室」を実施している。積極的に自主学習に取り組んでもらい、学力向上を図りたい。

問 勤労青少年ホーム図書室の書籍が、図書館法

に則った分類表記通りに配置されていないので、非常に探しにくい。整然と配列すべきでは。

勤労青少年ホーム所長

ここ2年ぐらい一生懸命に分類整理をしている。今年度は、図書司書にも分類法の講習会に行ってもらったので、もう少しで完全に分類ができると思う。

問 「成果説明書」にある蔵書数は正確なのか。台帳との付き合わせ作業

をきちんとしているのか。特に、洋書の数が実際と大きく異なっている。誤りではないのか。

勤労青少年ホーム所長

旧中央公民館から移動した際に作成したリストをもとにした冊数である。

教育長 誤りではと指摘のあった冊数を確認し、次年度に新しい数字を出させてもらうので理解してほしい。

育

教



勤労青少年ホーム図書室

議会は進言する

町への意見・要望

【選挙管理委員会事務局所管】

○投票率の向上とその啓蒙について

法改正により、選挙権が18歳からとなったことを受け、各年代における投票率を勘案し、投票率の向上とその啓蒙にさらに努力されたい。

【総務課所管】

○障害者雇用の充足について

障害者の雇用の確保にあたっては、法で定める雇用者数に達するように図られたい。

○自主防災組織の充実について

自主防災組織に対し防災訓練運営補助金を交付しているが、組織のさらなる拡充のため、組織運営と維持費の経費も交付対象とされたい。

【企画調整課所管】

○松島町ホームページの充実と情報更新について

町のホームページは、様々な情報発信に大きな役割を果たしていることから、随時更新を行い、最新の情報を発信することはもとより、情報内容等のさらなる充実に努められたい。

【町民福祉課所管】

○待機児童の解消について

未満児等の待機児童の解消、安心安全な保育環境の確保のため、保育士不足の早期解消に向けた取り組みに努力されたい。

【産業観光課所管】

○地域農業振興について

地方創生事業は自立を目的とした時限補助制度であるが、支援期間終了後においても町独自の支援を行い、農業所得の向上と地域農業振興に繋がる施策に努められたい。

【教育委員会所管】

○学校給食賄材料の地元生産者と納入業者の活用について

学校給食については、地元生産者及び業者の育成・活用を図り、子どもたちのさらなる地元生産物の理解に繋がるような取り組みを検討されたい。

○勤労青少年ホーム図書室の充実について

勤労青少年ホーム図書室の図書のさらなる管理強化と有用な図書を新刊書に限ることなく購入し、蔵書の増強を図られたい。

一般 会 計

反対

今野 章 議員

平成29年度国施策は、社会保障費の自然増を抑え、国民負担増を求めたもので、この国の施策は、当然本町29年度行財政運営にも大きな影響を与え、町民生活を苦しめる要因となったもので29年度決算の認定には賛成できない。

しかし、本町の行財政運営は町民生活とも密接に絡み合っており、執行されるもので、町民のための事業も多いことは、誰もが否定できない。よって、滞納整理機構からの脱退、二小用地問題の解決、貧困の実態調査、心のケアハウス開設等々を評価しつつ、改善すべき点として人事評価制度の中止・慎重な運用、職員・臨時職員の処遇改善、障害者雇用の改善、温暖化対策・ごみの減量化と再資源化の推進、個人情報を一括管理するマイナンバーの運用中止、保育士の確保対策、保育所統合に原則反対、公民館事業の見直し、農業など一次産業の所得向上対策などを求める。

賛成

高橋 幸彦 議員

平成29年度普通会計の決算額は、歳入144億4669万88千円、歳出129億9054万6千円であり、差引額は14億5615万2千円の黒字となっている。決算総額のうち70億5423万7千円が東日本大震災関連の決算額となっており、最優先施策と位置付けた東日本大震災復興交付金事業46事業のうち、7事業が完了し、これまで26事業が完了した。

決算から分析した財政構造を示す指標等を見ると、硬直化が進んでおり、避難施設整備事業の完了などにより経常収支比率が増加するなど、今後も東日本大震災の復興復興関連事業の影響が各指標・現在高に現れることが見込まれる。

今後も、少子高齢化による人口減少のため、歳入減や社会保障費等の増大により財政は厳しいものとなる。これまで以上に心を引き締めて、町政を進められたい。

国民健康保険特別会計

反対

今野 章 議員

本町の国保加入者の半数以上が年金生活者であり、29年度の法定減免世帯は58・6%に上る。

この状況で、応益割など高い国保税の負担が求められるため累積滞納額は1億1800万円余りに。

他の自治体でも同様の傾向で、国民健康保険は極めて脆弱な基盤の上に成り立っており、公費負担によって支えなければ成り立たない制度である。

このため国は、27年度から国保への財政支援を強化しており、町はその財源で国保税の引き下げを行うべきだった。しかし、町は30年度からの国保広域化の見通しが立たないと国保税を引き下げずに来た。

広域化しても問題の抜本的改善は期待できず、町は国保運営の困難解決に向け医療費への国庫負担を元の45%に戻すよう国に働きかけ、加入者負担の軽減を図るべきであった。

賛成

後藤 良郎 議員

国保は、制度創設以来国民皆保険の中核として町民の皆様の医療の確保と健康増進に大きな役割を果たしてきたと考える。

国保の健全運営は、収入未済額を減少させ、療養給付の上昇を抑えることにある。本年度会計においても保険税徴収対策として、特別滞納整理室等を中心に各種税の徴収推進を行いながら、税源確保に努力している姿を評価する。

データヘルス計画に基づく健康保持増進のための保険事業等を行っており、町ぐるみで健康づくりのための予防対策がとられている。

今後一層厳しい運営が予想される国保会計の中で、国民健康保険事業は平成30年4月より宮城県が保険者になるが、町民の皆様の大切な生命と健康を守るため、今後も絶対に堅持していかねばならない医療保険制度であると考え、賛成の討論とする。

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章
議員

後期高齢者医療制度は75歳以上の全員に保険料が課され、2年ごとに保険料が見直される。

75歳以上の人口と医療費が増加するほど保険料負担にはね返り、保険料が上昇する仕組みである。

これは高齢者の生活実態を無視して、その能力を超えた負担を求めようとする仕組みである。

また、これまでは負担が多すぎると制度創設当初から激変緩和の特例措置や負担軽減措置等が講じられてきたが、29年度より段階的に廃止される。

この影響は、加入者の約半数に及ぶとされ、高齢者にとっては医療費の負担増や年金削減、介護からの締め出しなど、厳しい暮らしが強いられる。

後期高齢者医療制度は、高齢者に我慢と犠牲を強いる制度であり、直ちに廃止をし、国の責任で安心して医療にかかれるようにすべきである。

賛成

櫻井 靖
議員

後期高齢者医療制度は、平成20年施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」を根拠法とする日本の医療保険制度であり、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的するものである。

制度開始から10年。現在は十分に定着し、安定した運営がされていると考える。

本町の被保険者数は、2837人であり、歳入は1億9767万3千円。調定額に対し、99・36%の収入率となっている。また、歳出は、1億9647万6千円となり、実質収支は82万7千円となっている。

本町では、運営母体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨を実施し、高齢における被保険者の適切な医療の確保に努めている。

以上のことから賛成すべきものと考えます。

介護保険特別会計

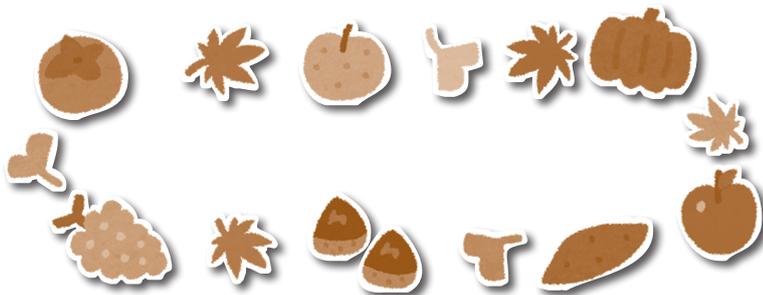
賛成

杉原 崇
議員

本町において高齢化率が36・2%となっており、2025年には4人に1人が後期高齢者となり、高齢化率も40%に達すると見込まれ、多くの高齢者が生きがいを持って、健康でハツラツと過ごしていくことができるよう施策が必要と考える。

本町では、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を始め、多様なサービスを提供するとともに、地域で支えあう事業や健康寿命を延ばす取り組みを行っている。

また、認知症初期集中支援チームを設置し、関係機関と連携しながら、認知症対策を行っている。第7期介護保険事業計画も開始し、地域包括ケアシステムの更なる充実を図りながら、高齢者が安心して生活できるよう、健全な介護保険事業の運営に努めているものであり、賛成とする。



平成30年9月 定例会提出議案

議案52号 松島町都市計画マスタープランの策定について
都市計画に関する基本的な方針として新たに都市計
画マスタープランを策定……………P18に掲載

議案53号 松島町営バス運行条例の一部改正について
町営バス運行区間の表記改正及び条文整理…P18に掲載

議案54号 松島町町税条例の一部改正について
個人町民税の所得控除等の見直しとたばこ税の税率
改正……………P18に掲載

議案55号 松島町都市計画税の一部改正について
地方税法改正による項ずれに伴う所要の改正

議案56号 松島町特別敬老祝金支給条例の一部改正について
米寿の方への特別敬老祝金支給金額の改正…P18に掲載

議案57号 松島町保険福祉センター条例の一部改正について
保険福祉センターの効率化等運営管理を適切に実施
するための所要の改正……………P19に掲載

議案58号 平成30年度松島町一般会計補正予算(第3号)について
平成29年度決算に伴う繰越金等についての補正
……………P20に掲載

議案59号 平成30年度松島町国民健康保険特別補正予算(第1
号)について
平成29年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金に
ついての補正

議案60号 平成30年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算
(第1号)について
平成29年度決算に伴う繰越金を一般会計へ繰り出だ
すもの

議案61号 平成30年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2
号)について
平成29年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金等
についての補正

議案62号 平成30年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1
号)について
平成29年度決算に伴う繰越金等についての補正

議案63号 平成30年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予
算(第1号)について
平成29年度決算に伴う繰越金等についての補正
……………P20に掲載

議案64号 平成30年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第
3号)について
平成29年度決算に伴う繰越金を一般会計へ繰り出だ
すもの

議案65号 平成29年度松島町水道事業会計未処分利益剰余金の
処分について

議案66号 工事請負契約の締結について
工 事 名 富山避難路整備工事
契約金額 1億2841万2千円
契約相手 丸勘建設(株) 宮城営業所……………P19に掲載

議案67号 工事請負契約の締結について
工 事 名 古浦漁港防潮堤整備工事
契約金額 2億6244万円
契約相手 奈良建設(株) 仙台支店……………P19に掲載

議案68号 工事請負契約の締結について
工 事 名 農道北小泉幡谷線舗装補修その1工事
契約金額 5549万4千円
契約相手 三井住建道路(株) 東北支店……………P19に掲載

議案69号 工事請負契約の締結について
工 事 名 農道北小泉幡谷線舗装補修その2工事
契約金額 6156万円
契約相手 (株)エス・ケイ・デイ 仙台支店

議案70号 工事請負契約の締結について
工 事 名 農道上下堤竹谷線舗装補修工事
契約金額 4538万1千6百円
契約相手 三井住建道路(株) 東北支店……………P19に掲載

議案71号 物品売買契約の締結について
事 業 名 消防小型動力ポンプ付積載車購入
契約金額 874万8千円
契約相手 トーハツ県南サービス(株)……………P19に掲載

議案72号 平成29年度松島町一般会計歳入歳出決算認定につ
いて

議案73号 平成29年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決
算認定について

議案74号 平成29年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出
決算認定について

議案75号 平成29年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認
定について

議案76号 平成29年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳
出決算認定について

議案77号 平成29年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認
定について

議案78号 平成29年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳
出決算認定について

議案79号 平成29年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

報告6号 平成29年松島町健全化判断比率について

報告7号 平成29年度松島町資金不足比率について

議案80号 平成29年度松島町水道事業会計決算認定について

臨時会提出議案

議案46号 平成30年度松島町一般会計補正予算(第2号)について

東日本大震災復興交付金事業第21回配分交付可能額通知に伴う事業等について補正……………P21に掲載

議案47号 平成30年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

新たに債務負担行為を設定するもの……………P21に掲載

議案48号 工事委託に関する協定の締結について

協定名 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定
協定金額 11億600万円
協定相手 日本下水道事業団……………P22に掲載

議案49号 工事請負契約の締結について

工事名 町道根廻・磯崎線道路整備工事
契約金額 7億2878万4千円
契約相手 (株)重松組 東北支店……………P22に掲載

議案第50号 工事請負契約の締結について

工事名 町道手樽・富山駅線避難道路整備工事
契約金額 1億5560万円
契約相手 我妻建設(株)……………P22に掲載

議案51号 工事請負契約の締結について

工事名 普賢堂排水区雨水管渠築造工事
契約金額 1億2744万円
契約相手 大木建設(株) 東北支店……………P22に掲載

平成30年 第3回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）
○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 ※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原 崇	櫻井 靖	緑山市 朗	赤間幸夫	高橋利典	片山正弘	澁谷秀夫	今野章	太齋雅一	後藤良郎	菅野良雄	高橋幸彦	色川晴夫	阿部幸夫	賛成	反対
議案第72号	9月21日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	12	1
議案第73号	9月21日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	12	1
議案第74号	9月21日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	12	1

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議案第52号	9月10日	議案第59号	9月10日	議案第66号	9月10日	議案第76号	9月21日
議案第53号		議案第60号		議案第67号		議案第77号	
議案第54号		議案第61号		議案第68号		議案第78号	
議案第55号		議案第62号		議案第69号		議案第79号	
議案第56号		議案第63号		議案第70号		議案第80号	
議案第57号		議案第64号		議案第71号			
議案第58号		議案第65号	議案第75号	9月21日			

平成30年 第1回松島町議会臨時会 議案採決結果

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議案第46号	8月7日	議案第48号	8月7日	議案第50号	8月7日
議案第47号		議案第49号		議案第51号	

デマンドバス 実証実験へ

議案 審議

松島町都市計画マスタープランの策定

質疑

赤間幸夫議員 マスタープランの実施計画において、進捗管理を行うとともに町民に対して情報提供すべきであるがどうか。
町長 丁寧な町民に説明しながら進めていきたい。

今野 章議員 具体的な定住対策はあるのか。

企画調整課長 既存住宅、地域コミュニティの維持という観点から、今ある調整区域の中に種地として地区計画で住宅地をつくっていききたい。
賛成全員・可決

松島町営バス運行条例の一部改正

質疑

櫻井 靖議員 デマンドバスは高齢者にはわかりづらいので、説明が必要ではないか。
総務課長 職員が乗って直接説明をしていく。

赤間幸夫議員 条例の一部改正において、実証実験の結果、評価によってはまた元に戻るのか。

総務課長 東北運輸局に区域で別途申請手続をとっている。実証実験が終了したら、廃止の届け出を出し一旦もとに戻すという形をとらせていただく。

菅野良雄議員 実証実験を通じて、評判が良くて他の地域でも運行要望が出てきた場合はどうなるのか。
総務課長 議会に実証実験の結果を報告して意見を求めるようになる。
賛成全員・可決

松島町税条例等の一部改正

質疑

色川晴夫議員 個人町民税非課税範囲の変更による影響人数は。
財務課長 現在課税されている1名の方が非課税に移行になる。
賛成全員・可決

松島町特別敬老祝金支給条例の一部改正

質疑

杉原 崇議員 敬老祝金を減額した財源で少子化対策の特定不妊治療助成事業を行うということであるが、29年度5万円の助成であるが増額にならないのか。
健康長寿課長 助成額は1回当たり10万円である。治療方法によっては5万円が上限のものもある。29年度は100万円の予算を計上している。

片山正弘議員 88歳の人を5万円から2万円に下げ、99歳の人が据え置きということであるが、99歳の人の10万円を逆に引き下げ、88歳の人に多く上げる検討はされたのか。

副町長 庁舎内でコミュニケーションした結果、今回の提案になった。

今野 章議員 紙おむつ費用について近隣市町と肩を並べるくらいまで充実すべきではないか。
町長 多方面から意見を聞いていきたい。

菅野良雄議員 紙おむつの増額分はどこに助成するのか。
健康長寿課長 社会福祉協議会である。
賛成全員・可決



デマンドバス実証実験中



松島町保健福祉センター
条例の一部改正

質疑

高橋幸彦議員 条例になく管理規則に入っているのはどういふことなのか。
総務課長 基本的には、設置及び管理に関する事項は条例で定める。本町は休館日、時間については、保健福祉センターの規則のほうで定義している。これで問題はないが、ほかの条例との整合を図る上で整理をしていきたい。

今野 章議員 日曜日を休館というところであるが、楽しみにしている方もいるので考え直しはできないか。
健康長寿課長 建設から相当年数が経過し、メンテナンスの日にあてたい。

色川晴夫議員 将来、大規模改修の考えはあるのか。
副町長 色々検討しているが、当面は長寿命化を進めていきたい。



保健福祉センター

菅野良雄議員 入浴の終了時間が守れるか心配であるが。
町長 利用する人にしっかり説明していきたい。
賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔富山避難路整備工事〕

質疑

色川晴夫議員 地元業者が入札参加できる環境整備が必要ではないか。
町長 これからも心掛けていきたい。

櫻井 靖議員 夜間時の照明として、階段に反射板などをつけてはどうか。
建設課長 照明は、階段の一番上と階段の下、あと中間に2ヶ所で、反射板は考えていない。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔古浦漁港防潮堤整備工事〕

質疑

今野 章議員 なぜJRの請負工事にできなかったのか。
建設課長 JRと協議したが、受託工事の件数が東日本大震災以降かなり多く、32年度までの完了が見込めなかったため。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔農道北小泉幡谷線
舗装補修その2工事〕

質疑

太齋雅一議員 大型車の交通規制等を考えているのか。
建設課長 復興事業がある程度終了し、交通量が減ってきたところを見越しての舗装強度を上げる工事であり、交通規制は考えていない。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔農道上下堤竹谷線
舗装補修工事〕

質疑

今野 章議員 同じ路線で工区を分けているのに、同じ業者がとるといふことよりは、別な業者がとれるような入札のあり方を変えていく考えはないのか。
副町長 今後検討していきたい。

菅野良雄議員 条件付き一般競争入札にそれ以外の条件をつけることができるのか。

副町長 それも含めて検討していきたい。
賛成全員・可決

物品売買契約の締結
〔消防小型動力ポンプ付
積載車購入〕

質疑

後藤良郎議員 今使用のポンプ付積載車の処分方法はどのようになるのか。
危機管理監 車両等については売り払いで、ポンプについては分団で訓練用として有効利用していく。

賛成全員・可決



消防小型動力ポンプ付積載車（同型車）

中山間地域等農村活性化補助金

もっと周知を図る必要あり

補正予算

平成30年度

松島町各種会計補正予算

金額は補正額

松島町区外区有財産特別
会計補正予算

(第1号)

松島区有地賃貸料

16万3千円

高城区有地賃貸料

4万8千円

一般会計補正予算

(第3号)

質疑

●中山間地域等農村活性化事業
20万円

後藤良郎議員 今回の補助先は、任意組織「根廻ふるさと保全隊」である。ほかにも当てはまる地域があると思われるが。

産業観光課長 ほかに該当する地域があると思われるので、この補助制度について周知を図って行きたい。

高橋幸彦議員 この事業は、果樹園の観光資源化等3項目が予定されているが、20万円の予算で足りるのか。

産業観光課長 補助金の限度額は20万円となっており、この件については確認している。



教育長 各学校において地震が起きた場合、生徒自身がどのような行動を取らなければならぬかについて書かれた副読本を使って指導している。特にプロ

菅野良雄議員 根廻のふるさと保全隊がどのような経緯で結成されたのか、また、このような補助事業がある事を町民に知らせる努力はされたのか。

産業観光課長 宮城県において、こういう補助制度があるということがわかり、たまたま根廻地区で果樹園の観光資源化等を検討していたので取り上げたものである。周知に関しては、多面的機能を協議する場で行ってみたい。

●危険ブロック塀等除却事業補助金
25万円

杉原 崇議員 大阪北部地震で

スクールゾーンのプロック塀の下敷きになって小学生が犠牲になった。本町では登下校の際の安全性を確保するため、どのような指導を行っているのか。

ック塀については、十分に注意するよう、小中学校の校長に指示を行った。

●保育士派遣業務委託料
638万6千円

色川晴夫議員 本町の現時点における待機児童は10名である。この件を解消するためには、何名の保育士が必要となるのか。

町民福祉課長 待機児童10名の内訳は、9人がゼロ歳児、1人が2歳児である。ゼロ歳時の基準数が3人に1人の保育士が必要となっており、公休等の事を考慮した場合、3人以上の確保が必要である。

質疑

●今野 章議員 両区の貸付けの場所及び貸付け期間は。

財務課長 松島区の方は三十刈付近の区有地で、浪打浜雨水環境築造工事に伴う資材置き場用地として、7月1日から9月30日までの3カ月分である。

高城区の方は、松の杜の区有地で、東北電力の工事に伴う現場事務所等として、6月上旬から7月上旬までの1カ月間である。

菅野良雄議員 以前からこの会計は、整理してはどうかという話だったが現状はどのようになっているのか。

財務課長 区有財産の会計の廃止については、今後、財産整理等を含め、区と協議し調整していく必要がある。調整ができ次第、廃止の方向で進めていきたい。

平成30年 第1回
臨時議会
8月7日(火)

地域住民の願い 西柳ポンプ場着工される

補正予算

一般会計補正予算

(第2号)

質疑

● セッコク培養施設改修等工事

354万2千円

渋谷秀夫議員

事業内容について、今後新たな施設に移行し、安定したセッコクの繁殖を行い、町花の継続及び認知度の向上並びに地域の活性化を図るとあるが、具体的にどの様な事業をやっていくつもりか。

産業観光課長 町花セッコクは、平成28年度の育成中に雑菌が入り鉢数がかかなり出来上がらない状態になっている。この状態を解消しようということでの一年の従事日数は45日間だが、この日数で震災以前の5000鉢の生産に追いつこうと、松島、夢、農村農業活性化推進協議会と東部地域交流センターにも手伝いをもらい、地域活性化を図ろうと考えている。



セッコク培養施設に改修される旧第四小プール更衣室

● 農道路面補修事業

2億4503万8千円

赤間幸夫議員

町道補修事業は行政境界にまたがった事業であり東松島側と調整をしたのか、また平成32年3月まで全面完工させる見通しは。

建設課長 上下堤竹谷線は東松島市までかかっているが路面の管理は松島町が行うとなっているので東松島市と調整しながら実施して行く。

今野章議員 債務負担行為の補正ということ、29年度に提出された10億6700万円の限度額が今回4000万円ほど減額になった。その理由は。

水道事業所長

限度額が4000万円下がっている事については平成29年度の繰越額2900万円その他に平成30年度の当初予算に西柳ポンプ場の費用を計上しその分差し引いたので限度額が下がった。

下水道事業特別会計補正予算 (第2号)



町道上下堤竹谷線 (北小泉地区)

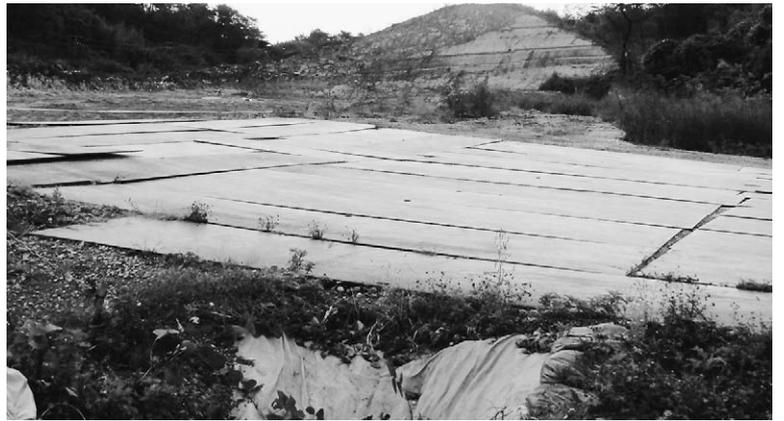
工事委託に関する協定の締結
〔西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定〕

片山正弘議員 西柳ポンプ場建設に当たり、用地交渉等についていつごろ終わったのか。

水道事業所長 一筆分の土地については購入しているが、もう一筆については購入していない。法定相続人が係争中であるが、工事内容について法定相続人、代理弁護士を通じて話合うことが出来、売却については了解するという旨であり、起工承諾という調書を7月中旬に徴収した。これらに基づいて今回工事を実施して行く。

今野章議員 10メートル位深く掘削する様だが周辺の補償関係はどの様になるのか。また日本下水道事業団との協定はどの位進んでいるのか。

水道事業所長 西柳雨水ポンプ場は住宅が張りついている部分もあり下水道事業団体との協定締結が出来、工事の発注を行うので、業者が決定した際に家屋調査をさせてもらいながら十分配慮していく。



町道根廻・磯崎線道路整備工事（根廻地区）

工事請負契約の締結
〔町道根廻・磯崎線道路整備工事〕

杉原崇議員 この道路が完成するとかなり便利になる。松島北インター付近の渋滞緩和でかなり交通量が増えると思うが、この間に信号を設置する考えはあるのか。

また、横断歩道はどの様な形になるのかも伺う。

建設課長 信号機については、国道45号の交差点、運動公園の交差点、県道奥松島公園線の交差点について設置の要望をしていきたい。

横断歩道については、信号機設置と同時に引く形となると思うが、公安委員会と警察との調整を行っていきたい。

工事請負契約の締結
〔町道手樽・富山駅線避難道路整備工事〕

高橋利典議員 この路線は地震の影響でゆがんでいるが直るのか。

建設課長 今回は歩道のみは拡幅工事であり、車道部分については手をつけない。

今野章議員 海浜公園への侵入路が確保されているのか、また、車椅子でも入れる様な整備が出来ないのか。
建設課長 今回の歩道整備では、乗り入れ部をきちんと整備して行く。

工事請負契約の締結
〔普賢堂排水区雨水管渠築造工事〕

色川晴夫議員 工事終了後、この区間の蓋かけ水路部分の舗装整備の予定は。
水道事業所長 この事業は、復興交付金事業であり、また、この場所は水路となっており舗装整備は予定していない。



避難道路として整備される町道手樽・富山駅線

総務経済常任委員会 研修レポート

「定住化促進対策(こふん)」

富山県南砺市

南砺市では、平成26年より、移住定住と婚活支援を推進する「南砺で暮らしませんか」を新設。平成28年からは、「市民協働課」と「南砺で暮らしませんか」を統合し、協働のまちづくりに向け「市民協働部 南砺で暮らしませんか課」とした。「知る・伝える」は、情報発信事業として、「体験する・受け入れる」は、移住定住準備事業として、「移住・定住」は、定住サポート事業として、3つの大きな柱の事業を展開している。



富山県南砺市視察

住希望者に歩み寄った息の長い「取組」を行っている。

富山県舟橋村

舟橋村は、昭和46年舟橋村全域が市街化調整区域に指定された。その後、年間出生数や小学校入学児童数がひと桁となり、村の存続に危機感をもった当時の村長が、8年の歳月を要し、国や県に粘り強く働きかけ、昭和62年全国初となる富山・高岡広域都市計画から立山・舟橋都市計画区域へ変更が実現した。

その後、村営住宅団地の造成、民間デベロッパーの参入。富山市の通勤圏で、土地の値段が安かったこともあり、ファミリー層が流入し、団地造成前の平成2年の人口が1371人だったのが、平成27年には2982人に倍増している。

このように国の法律を変えるためには、行政トップの熱意、自ら行動することの重要性、職員の意欲、さらに住民の協力なくしては達成できないと強く感じた。



富山県舟橋村視察

教育民生常任委員会 研修レポート

「幼児教育の環境整備(こふん)」

香川県綾川町

松島町では、近年幼児保育施設の老朽化や保育士不足などの早期解決策が望まれている。町から、平成32年度より、既存保育所の集約と新たな保育所の新設計画が示された。

当委員会は、幼児教育施設運営環境整備が特に優れている県内2施設、県外2施設の認定こども園を視察研修した。

宮城県川崎町

2つの保育所と1つの幼稚園を統合し、宮城県内で最も早く「認定こども園」として「かわさきこども園」が設立された。

地域の保育所という意識が強く反対の意見が多かったが時間をかけて説明したことにより理解を得ることが出来た。

宮城県丸森町

丸森町の「丸森たんぽぽこども園」は、社会福祉協議会が運営している。

私立認可保育所には、国・県の運営負担金等が対象とされていることから保育所事業を民間に移管することにより、建設資金の軽減、保育サービスの充実につながっている。

また、保育士の募集については、大学等に直接出向き、募集を行っている。

「綾川町立昭和認定こども園」は、旧施設の老朽化により2つの保育所の統合と学校再編にともない、小学校に近い場所を選定しつくられた香川県でただ一つの公立認定こども園である。

子育て支援の観点から、綾川町では定住促進として新しい家を建てるとき100万円、そして建築期間のアパートの家賃を助成している。

また、保育士の人手不足については、施設の良さから口コミやOBが協力的に動き確保されている。

兵庫県福崎町

福崎町では、保育所の老朽化により立て替えを検討する中で、すべての幼児が平等に就学前教育が受けられるようにと

幼保一体型を整備、運営を始めた。その後、幼保一体施設から認定こども園へ移行した。

視察を行った「サルビアこども園」は、敷地が狭いため2階建てとし、園庭を広くとる工夫をしていた。



香川県綾川町視察

町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい!

5人の議員が 9件について質問

杉原 崇 議員 (25ページ)	◆ 猛暑による熱中症対策について
櫻井 靖 議員 (26ページ)	◆ 防災行政無線テレホンサービスはできないか ◆ DMO等とどう関わっていくのか ◆ 友好都市や災害協定等を結んでいる地域とさらなる交流を
菅野良雄 議員 (27ページ)	◆ 水族館跡地利用計画の現状について ◆ SNS (会員制交流サイト) による情報発信・収集について
澁谷秀夫 議員 (28ページ)	◆ 松島町の環境美化促進に対する取り組みについて (雑草関係)
今野 章 議員 (29ページ)	◆ 集団補聴システムの整備を ◆ 国連「家族農業の10年」町の取り組みは

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



すぎはら たかし
杉原 崇 議員

問 猛暑による熱中症対策について

答 WBGT(暑さ指数)の計測をしっかりとし、目に見えない危険から子供たちを守る

問 屋外活動の熱中症対策は。

教育長 幼小中では環境省の熱中症環境保健マニュアル2018などを参考にして予防策を講じるとともに、外遊び時の帽子の着用やこまめな水分補給をさせている。また状況により、屋外での活動を自粛するなどの対策をとっている。

町民福祉課長 保育所では猛暑日は外での遊びは控え、水遊びは朝の時間に行い、その後は冷房のある部屋で過ごすようにした。

問 WBGT(暑さ指数)を測る、熱中症モニターを導入は。

教育長 幼小中に各1台ずつ整備したので、この指数計を基に、熱中症防止に努めていく。

町民福祉課長 保育所での導入を考えていく。

問 夏休み延長は。

教育長 文科省より、学校の夏期における休業日に関する児童生徒等の健康確保に向けた対応等について通知通達もあつたが、松島では考えてはいない。学習活動に支障が出るような暑さの場合には、園長、校長と連携しながら臨時休業の措置は考えていきたい。

問 臨時休校による授業数減対策として土曜授業の考えは。

教育長 授業時数を多く設定しており、子供の負担がさらに大きくなることと考えられるので、現時点では土曜授業の考えは持っていない。

問 現在のエアコンの設置率は。

教育長 幼稚園は保育室が50%、遊戯室・職員室が100%である。小学校は普通教室が12.5%、特別教室が15.6%、保健室には設置しているが、職員室・校長室には設置していない。中学校は普通教室が0%、特別教室が5.3%であり、職員室・校長室にはないが、保健室と体育館にある柔道場には設置している。

問 エアコンを設置する場合の概算は。

教育長 幼小中の未設置の教室等に設置する場合、本体、設置工事、受電設備等を合わせると約3億円から3億5000万円である。

町民福祉課長 宮城テレビの24時間テレビから保育所にエアコン寄贈があつた分を除き、保育所では約3000万円である。

問 電気料等のランニングコストは。

教育長 エアコン以外の電気料金を含めて、年間でおよそ1400万円程度になり、エアコン設置の場合は、およそ400万円ほど増額になると見込む。

町民福祉課長 保育所では、年間でおよそ330万円程度になり、エアコン設置によりおよそ80万円ほど増額になると見込む。



保育所に寄贈されたエアコンに喜び子供たち

問 民間事業者の技術やノウハウ・資金を活用するPFI方式によるエアコンの導入をしている自治体もあるが、松島町としてエアコン設置の考えは。

教育長 PFI方式による導入など様々な事を勘案して、エアコンの導入については、国の補助基準等、施設整備に対する施策等を注視しながら検討していきたい。

町民福祉課長 保育所としては、現在保育所の再編を進めていることから、当面エアコン設置済みの部屋での合同保育などで対応していきたい。



熱中症モニター



さくら い やすし 櫻 井 靖 議員

問

防災行政無線
テレホンサービスはできないか

答

個別受信機の
無償貸与を進めていきたい

問 防災行政無線の難聴対策として、無線の内容を電話でもう一度確認できる「防災行政無線テレホンサービス」は導入できないか。

危機管理監 防災行政無線の難聴区域の世帯に対して、高齢者の世帯を優先的に個別受信機の無償貸与を進めている。

また、8月より安心安全メールで、防災行政無線で放送した内容をお知らせする配信サービスも開始し、SNSを活用した情報発信の充実に努めている。テレホンサービスについては、今後の検討課題としていきたい。

問 災害が起きたとき、すぐに松島町の災害情報が見られるよう、QRコードをステッカーにして公共施設や野外の避難誘導の看板など貼ったり、広報誌に掲載し、スマホでSNSやホームページの災害情報ページにリンクするようできないか。

危機管理監 避難所や広報まつしま等にそういったQRコードを掲載するということは、労力的にはさほど要しないので、導入できると考えている。

問

DMO等と
どう関わっていくのか

答

連携をとりながら観光地域
づくりを進めていく

問 DMOの参入や松島水族館跡地に大型観光施設ができるなど、松島町の観光について新たな動きが起きている。町としてDMO等とどうかわっていくのか。

町長 町としてどう関わるかはまだ手探りだが、広域の中でしっかりと連携をとりながら観光地域づくりを進めていく。



観光面での支援を（倉敷市美観地区）

問

友好都市や災害協定等を
結んでいる地域とさらなる交流を

答

今まで取り組んだ事例を踏まえ、
実施できるよう検討する

問 平泉町では、一般募集を行い、松島・平泉線のバスを利用し訪問してくれた。松島町としても町民のバスなどを出して交流を促進してはどうか。

問 観光交流協定を結んでいる倉敷市は、災害に見舞われ、風評被害で観光客数が落ち込んでいる。観光面で少しでも応援できないか。

産業観光課長 当町においても平泉町との相互の連携と町民同士の交流促進、そしてますますのバス利用促進を町民に図るよう考えている。今まで取り組んだ事例を踏まえ、実施できるよう検討する。

産業観光課長 観光協会とともに倉敷市の災害に係る陣中見舞いと、あわせてその地域を元気づける観光キャンペーンに行っていく。

DMOとは

名所旧跡など観光物件や自然、食、芸術芸能、習慣風俗など、その地域にある観光資源に精通し、地域と協働して観光地域づくりを行う法人のこと。



菅野良雄 議員

問 水族館跡地利用計画の現状について

答 32年春の開館に向けて進んでいる

問 水族館跡地は、県が公募した事業者がミュージアムの建設を進めている。「町の歴史に関する資料の展示ができるスペースを確保する」という県の公募条件に即したミュージアムである。

しかし、事業者は現在設計を中止している状況だと聞く。その要因は、町から借り受けできる展示物がどれだけあるか心配していることと聞いている。町と建設事業者は協議をしながら進めているのか。

町長 担当者間で実務的な協議を実施している。32年春の開館に向けて進んでいる。
産業観光課長 現存している総数は533点と把握している。そのうち貸し出しできる展示物は60点程になる。

問 ミュージアムが開館になれば雇用にもつながるし観光関連に与える影響も大きく町の活性化に結びつくと思われる。もっと積極的に動いてほしい。

それから、駐車場が狭いと思われ開館後の交通渋滞が心配される。警察との協議を進めておくべきではないか。

町長 県の土地であり調整が必要である。

問

SNSによる情報発信・収集について

答

有効に活用したい

問 SNSは情報の発信・収集が迅速にできるとともに、受信した人が更に多くの知人に伝達することができることから、情報を瞬時に拡散できることもあり、災害時にSNSを利用する自治体が急速に増えている。国は複数のSNSを確保しておくことが理想だとされているが、複数のSNSを利用している自治体は少ない状況にある。町はフェイスブック・ツイッターと複数のSNSを利用できる環境にありながらツイッターの利用頻度が少ない。災害時は有効活用すべきと思うが、情報発信・収集体制はどうなっているのか。



SNSの有効活用を

危機管理監 SNSを活用して発信するには、文字数制限があり、手数がかるためこれまで活用していない。しかし、災害時の情報発信・収集方法として活用することは効果的と認識している。体制整備や発信方法の工夫を行うなど内容を充実させ有効に活用したいと考えている。

問

松島町の環境美化促進に対する取り組みについて

答

ごみ0運動などの環境美化活動の中で“雑草問題”も含め美化促進を図って行きたい



しげお ひで 谷 秀 夫 議員



国道45号の歩道橋付近（松一小前）

問 国道・県道及び町道沿いの年間除草計画について伺う。

建設課長 国道45号、県管理の国道346号及び県道全路線は、年1回6月から8月中に除草されている。尚、松島地区の小石浜から双観山までは、11月開催のクイーンズ駅伝に合わせて2回目的

問 幹線町道以外からの要望があった場合の対処方法は。

建設課長 各行政区長等と打ち合わせのうえ、地元で依頼している。地元で依頼する場合は、草刈り機の貸し出しや草刈り機の替刃支給を行っている。

問 地元にお願する場合はの安全性の確保は。

除草作業が実施されている。町道は、幹線の8路線を年2回、6月から10月中に実施している。

問 宮城県が関わっている除草エリアと取り組みについて伺う。

産業観光課長 グリーン広場及び福浦島は、5月・7月・10月で年3回実施、浪打浜及び中央広場から第3駐車場までは、5月、7月の年2回、双観山及び小石浜地区は、7月、10月の年2回実施している。

建設課長 危険と判断される場合は、町で検討する。

問 住民が、8月初旬に福浦島を訪れた際、遊歩道の草がぼうぼうで歩くのが大変だったようである。草刈りの時期もあるかと思うが、草の伸び具合も考えて対処すべきと考えるが。

産業観光課長 草刈り等の維持保全管理等については、公園管理事務所と連絡を取り合っているが、引き続き調整を図って行きたい。

問 町内の空き家、空き地内の除草対策について伺う。

総務課長 空き地等の除草対策については、所有者に文書による通知や電話連絡を行い、対応を促している。再三の通知でも対応されない場合は、土地所有者を訪問するなど指導を実施している。

問 町条例「松島環境美化促進に関する条例」の中に雑草に関する項目を加えることは出来ないか。

副町長 条文の中に加えることも一つの手法かと思うが、町としてはゴミゼロ運動等の環境美化活動で住民、事業者そして町が一体となり、環境美化意識の向上を図り、きれいな町を目指して行きたい。



空き地の中の伸び切った雑草（松島地区）



あきらの 今野 議員

問 集団補聴システムの整備を

答 可能であればモニタリングも

問 高齢者が元気に社会参加し、暮らすうえで「聞こえのバリアフリー」が大事である。補聴器を使っても外の雑多な音から話を聞き取るには訓練が必要で、補聴器の利用を諦めることも多い。本町の難聴者の実態はどうか。

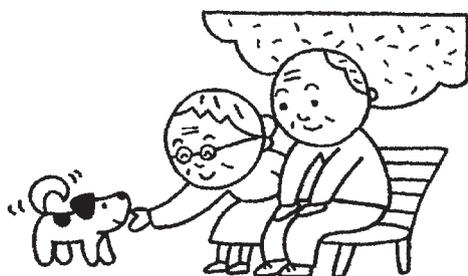
町民福祉課長 聴覚障害による身体障害者手帳保持者は32名。うち19名が補聴器を購入しているが、軽度の難聴者数などは把握していない。

問 町内における耳マークの設置状況はどうか。

町民福祉課長 公共施設では町民福祉課と保健福祉センター窓口で設置しているが、民間では金融機関一ヶ所だけである。

問 集団補聴システムを利用すると補聴器でクリアな音を聞くことが出来る。ホールや会議場での利用の他、持ち運び可能なものもある。公共施設等への整備の考えは。

町民福祉課長 聴覚障害には有用な手段だが、県内の導入実績は5ヶ所である。利用状況を把握し、難聴者や高齢者の意見を聞き、可能であればモニタリングを考えたい。



問 国連「家族農業の10年」町の取り組みは

答 大・小農家が活かし合う環境へ

問 国連「家族農業の10年」は、持続可能な開発にとって食料安保や貧困、飢餓の撲滅、格差や環境問題など、諸矛盾を解決する上で家族農業が重要な役割を果たし続けていることに光を当て、各国がその振興にむけ農業政策の転換を図るものだが、わが国の農政と決議には乖離があると思う。町長の所感はどうか。

町長 日本では担い手農家に農地の集積、集約を推進し小規模農家が減少している。本町も5ha以上の経営体が29経営体と増加している。しかし、本町は304経営体のうち5ha以下の経営規模は275経営体で、全体が小規模農家である。

問 効率化と企業参入で家族農業を追いやるのではなく、農業をやりたい人が農業に参入し生産に取り組める仕組み、家族農業が成り立つ支援が必要と思うが、これから10年の町の取り組みは。

町長 国策の議論は難しいが新たな生産の目安で

作付けしており、米価は安定すると思う。国は、自給率向上策として田の畑地化及び露地野菜栽培に産地交付金を加え、本町でも栽培に取り組む農家が出ている。後継者不在に伴う離農者等の受け皿など国施策に合わせながら大・小農家が活かし合う環境としたい。



持続可能な家族農業は

一部事務組合議会報告

吉田川水域溜池大和町外 3市3ヶ町村組合議会

平成30年8月3日（金）、平成30年吉田川水域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議会第1回定例会が開催された。

議案の審査状況

○吉田川水域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出決算認定
全員賛成 承認

○吉田川水域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出予算
原案のとおり可決

太齋雅一 議員



宮城県後期高齢者 医療広域連合

平成30年8月7日（火）、平成30年第2回宮城県後期高齢者医療広域連合議会が開催された。

議案の審査状況

①平成29年度一般会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算の認定について
一般会計
歳入 7億6100万0400円
歳出 7億0659万1053円
特別会計
歳入
2586億9631万0465円
歳出
2516億2477万7328円

②平成30年度一般会計補正予算について
歳入・歳出 5440万9千円増
③平成30年後期高齢者医療特別会計補正予算について
歳入・歳出
113億563万7千円増

以上の議案が原案の通り可決された。

緑山市朗 議員

塩釜地区 消防事務組合議会

平成30年7月5日（木）、平成30年第2回塩釜地区消防事務組合議会が開催された。

行政報告

塩釜地区消防事務組合管内

火災発生件数 21件

前年同月比較 5件増

救急出動件数 3807件

前年同月比較 174件増

（平成30年1月から5月まで）

要介護認定審査判定状況

審査会開催数 46回

審査認定数 1375件

障害者支援区分審査判定状況

審査会開催数 4回

審査認定数 37件

（平成30年4月から5月まで）

塩釜地区環境センター業務実績

し尿及び浄化槽汚泥搬入量
1594トン

（平成30年4月から5月まで）

塩竈斎場利用実績 368件

（平成30年4月から5月まで）

議案の審査状況

各種会計補正予算1件、財産の取得1件が原案の通り賛成全員で可決された。

片山正弘 議員

後藤良郎 議員

宮城東部 衛生処理組合議会

平成30年7月10日（火）、平成30年第2回宮城東部衛生処理組合議会が開催された。

行政報告

ごみ搬入状況

可燃・粗大ごみの総搬入量
1万445トン

前年同月比較 25トン増

内、松島町分 1381トン

前年同月比較 10トン増

（平成30年4月から6月まで）

焼却灰、排出ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量測定結果
ヨウ素131 不検出

その他 基準以内もしくは不検出

議案の審査状況

○宮城東部衛生処理組合ごみ焼却施設基幹的設備工事
契約金額 22億7880万円 賛成全員可決

○監査委員の選任
賛成全員で選任同意

今野章 議員

櫻井靖 議員

より良い地域にするために

行政区長との一般会議

平成28年度議会報告会の開催に先立ち、9月25日(火)12行政区の区長と議員の一般会議が行われた。

初めに、議会側から今年度の議会報告会で報告される内容の説明を行い、

続いて各区の行政区長より、いま各地域で抱えている問題についてご意見を伺った。

議会報告会の開催日程は、次の通りです。

議会報告会を開催します

あなたの地区へ 議会報告のご意見を聞きにうかがいます。

行政区	開催日	開催時間	開催場所
高城	10月13日終了	午後1時	高城コミュニティセンター
幡谷	10月13日終了	午後6時	品井沼農村環境改善センター
桜渡戸	11月3日(土)	午後5時	桜渡戸分館
上竹谷	11月3日(土)	午後5時	上竹谷生活センター
手樽	11月4日(日)	午後5時	手樽防災センター
根廻	11月10日(土)	午後1時	根廻分館
本郷	11月10日(土)	午後4時	本郷ふれあいセンター
下竹谷	11月10日(土)	午後6時	北小泉下竹谷 コミュニティーセンター
北小泉	11月10日(土)	午後6時30分	滝ノ沢サブセンター
初原	11月11日(日)	午後2時	初原 コミュニティーセンター
磯崎	11月18日(日)	午後5時	白萩避難所
松島	11月20日(火)	午後6時	松島防災センター

議会活動

◆主な活動内容

7月4日～6日

- 宮城黒川地方町村議会議長会議長研修(議会活性化の取り組み等)
- 福岡県太刀洗町
- 熊本県御船町

7月24日・25日

- 宮城県町村議会議員講座
- 農山漁村の地域経済活性化と自治体の役割
- 町村議会のあり方、議員のあり方

8月22日・23日

- 宮城黒川地方町村議会議長会議長正副議長・事務局長合同研修会
- 矢巾町 議会活性化の取り組みについて
- 釜石市 災害復旧状況について

8月30日

- 宮城県町村議会議員研修会
- 日本政治の行方
～人口減少社会に
向き合うために～
- 南三陸町の震災後の状況と課題について



宮城県町村議会議員講座 (県自治会館)



宮城県町村議会議員研修会 (バツハホール)

町民の声



おじま ひとし 等さん
(根廻)

町政に関心を向けよう!!

議会だよりが昨年から表と裏表紙がカラーとなり、美しく見やすくなり町民の皆さんも読む人が多くなったと思います。年に4回発行される議会だよりを読めば議員の質疑内容がよくわかります。松島町議会基本条例が制定されて10年になるかと思えます。条例に基づいた取り組みの中に議会報告会があります。議会が地域住民から町政に対しての提言や要望を聴き行政に反映させる絶好の機会です。年に1回の開催となっていますが、短時間での議会活動報告

や意見交換では十分な対話は出来ません。もっと時間をかけるべきと考えます。また、議会報告会での地域からの要望や提言は、議会と町当局からの答弁を『議会報告会のまとめ』として出されていますが、それだけでは十分とは言えません。議会報告会は、私たち住民のひとつの町政への参加であると思います。折角の機会を有意義なものにされるよう議会は思考し真摯に取り組み、それを受けて私たち住民も町政に対し、もっと関心を持つようではありませんか。

行政視察

7月5日

岡山県津山市議会 清流の会

○災害対策について

表紙を飾られた、皆さんからのメッセージ

松島中学校吹奏楽部部长

林 快偉斗

皆さん、こんにちは。松島中学校吹奏楽部です。この度はまつしま議会だよりに掲載していただきましてありがとうございます。

私達吹奏楽部は9月に3年生の先輩方が引退し、今は2年生12名、1年生6名の計18名の新体制で活動しています。

コンクールやアンサンブルコンテストで良い成績を残すことや、町内の依頼演奏などで「聴いていただく人を楽しませ感動を届ける」ということを目標に日々の練習に取り組んでいます。部員数はとても少ない状況ではありますが、これまで先輩方が築いてきた伝統と松島中学校らしい「美しい音」を大切にしながら、今よりもっと楽しく良い演奏ができるよう部員一同仲良く頑張っていきますので、これからもご支援よろしくお願ひします。

次回12月の定例会は

12月14日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

読書の秋、スポーツの秋を迎えています。皆さんは、どんな秋を楽しんでいますか。スポーツと言えば楽天イーグルス、今年は残念な成績で終わりました。来季の奮起を期待したいものです。

さて、9月定例議会が9月7日に開会し、9月25日閉会しました。平成29年度予算が計画通り執行されたかどうかの審査を行い、予算を執行した結果、どんな成果を挙げる事が出来たのか評価を行う重要な議会となりました。

松島町議会では議会活動を理解して頂くために、町民の皆さんに議会傍聴を勧めています。今議会の傍聴人数は残念ながら昨年の9月定例議会より少ないものでした。傍聴手続きは、とても簡単です。町民の代弁者でもある議員の活動を是非、議場で見て頂きたいと思ひます。皆さまのご来場を、お待ち申し上げます。

(澁谷秀夫)
広報広聴常任委員会
広報分科会

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 杉原 崇 |
| 委員 | 緑山 市朗 |
| 委員 | 澁谷 秀夫 |
| 委員 | 太齋 雅一 |
| 委員 | 後藤 良郎 |
| 委員 | 色川 晴夫 |